

会 告

昭和48年秋季(第86回)講演大会討論会討論講演募集のお知らせ

昭和48年秋季(第86回)講演大会は昭和48年10月19日(金), 20日(土), 21日(日)九州大学において開催されますが, その討論講演を下記により募集いたしますので奮つてご応募下さるようご案内いたします。

1. 討論会テーマ

1) 高炉の溶融帯における反応について 座長 川合 保治君

高炉シャフト下部より羽口へかけての溶融帯における反応は高炉の特性を支配する重要な因子で, 今後研究を進めるべき重要課題と考えます。

溶融帯における炉内状況を含めて各種の反応(溶鉄, スラッグの生成分離, スラッグの還元, 溶鉄の炭素吸収, イオウ, 珪素, マンガンなどの挙動その他)について討論し今後の発展の足がかりとしたいと考えます。

2) 溶鋼の複合脱酸について 座長 盛 利貞君

鋼の量より質に重点をおかなければならぬ今日において, 溶鋼の脱酸は製鋼技術のポイントであります。しかも脱酸について現在関心を持たれるのは複合脱酸ではないでしょうか。ところが複合脱酸の効果は必ずしも明確とはいえません。平衡論, 速度論, 脱酸生成物の性状あるいは現場実績など, 基礎・応用いずれでも構いませんから複合脱酸に関する研究論文を發表し討論に参加されることを期待します。

3) ロール成形の技術的諸問題について 座長 加藤 健三君

電縫鋼管, 軽量形鋼などの生産の主力となつているロール成形加工について, 成形ライン構成, 成形ロール孔型, 成形ロール荷重, 成形時の材料変形およびエッジストレッチ, 成形品の残留応力など, 成形加工上の技術的諸問題について討論を期待する。

生産加工技術的な内容と塑性加工研究的な内容のどちらでも差支えない。

4) 鋼およびステンレス鋼の耐海水性 座長 久松 敬弘君

海洋開発のための構造材料としての鉄鋼には, 海水というかなり高濃度の塩化物水溶液との戦いがむずかしい問題としてある。しかも海水は単なる塩化物水溶液にとどまらず, 生物の付着によつて「すきま」と呼ばれるジオメトリーを構造物表面につくり出す。このことによつて, 海水中での腐食はさらに局所的性質をおびる。

普通鋼・低合金耐海水鋼・高合金鋼を通じて Localized Corrosion に対する抵抗性を中心とした討論を行ないたい。

5) 鉄鋼中の格子欠陥と水素原子 座長 橋口 隆吉君

鉄鋼中における各種格子欠陥と水素原子との相互作用の問題, 水素単独の場合でも水素原子を格子欠陥的立場から取扱つた問題などを討論する。

6) 鉄鋼の強化組織と靱性 座長 荒木 透君

(本テーマは, 金属学会「混合組織をもつ合金の強度と靱性」と合同シンポジウムとして開催)

上記テーマにより金属学会との合同シンポジウムを開催いたします。つきましては鉄鋼に関して, 各種の変態組織(熱処理—加工熱処理を含む)の強化挙動と靱性, 延性との関連を, 主として微視組織面からのアプローチにより追究した「研究報告」ないし「review」を募集いたします。(関連組織としては, 微細化フェライト組織, 中間段階変態組織—ベイナイト等不完全焼入組織, HTMT ないし動的回復—再結晶組織, オーステナイト—マルテンサイト混合組織等)

2. 申込締切日 昭和48年2月23日(金)(ただしテーマ6については申込締切日を3月30日(金)といたします)

3. 申込方法 本誌綴込みの申込用紙(ブルー色)に必要な事項ならびにアブストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は, 前記ご提出のアブストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので, あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演前刷原稿締切日 昭和48年5月30日(月)

討論講演として採用された方は, 本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内(表, 図, 写真を含め6700字)にタイプ(12ポ)印書あるいは黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書きのうえ, ご提出下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第59年第8号(昭和48年7月号)にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第59年第9号(8月号)に講演内容を掲載いたします。

8. 討論質問の公募締切日 昭和48年9月中旬

前記第9号掲載の講演内容をご覧のうえ, 質問対象講演を明記のうえ, 本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先: 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 (代)

第85回(春季)講演大会討論会コメントならびに質問募集案内

本会では第85回講演大会を来る4月5日～7日の3日間東京工業大学で開催いたしますが、講演大会開催にさいし下記討論会が開催されます。本討論会の講演内容は本誌(2号)巻末に掲載いたしておりますので、内容ご覧のうえ講演に対するコメントならびに質問をふるつてご投稿下さるようご案内いたします。

記

1. 討論会テーマ

I. 装入物の性状と高炉操業について

座長 鈴木 駿 一君

II. 連続鑄造の凝固について

座長 高橋 忠 義君

III. 熱延厚板性状が冷延鋼板の形状におよぼす影響について

座長 児子 茂君

IV. 非調質高張力鋼の制御圧延一冷却により得られる性質一

座長 荒木 透君

V. 鉄鋼中の不純物と格子欠陥

座長 橋口 隆吉君

2. 投稿締切日 昭和48年3月9日(金)

3. コメント・質問原稿 任意の用紙にご執筆のうえ提出下さい。

4. 送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021

5. 討論講演概要 討論講演の概要は本誌(2号)のみに掲載され、講演概要集(4号)には掲載されません。 会誌掲載 討論会参加の方は本誌掲載分をご持参下さい。

合同シンポジウム

—鋼の組織と強度・靱性—

共催 鉄鋼基礎共同研究会強度と靱性部会, 金属学会第Ⅱ総合分科会

期日 昭和48年2月21日(水) 10:00~17:00

場所 学士会館(神田一ツ橋) 電話 03-292-5931

10:00 開会挨拶 金属学会第Ⅱ総合分科会 委員長 田村 今男

10:05~11:00 テーマ (残留オーステナイトについて)

座長 東北大学 須藤 一

講演 鋼中オーステナイトの定量について

新日鉄基礎研 長島 晋一

11:00~12:00 テーマ (異相混合組織について)

座長 東京工業大学 田中 実

講演 異相混合組織をもつ鋼の強度と延性

京都大学 田村 今男

コメント Fe-Ni-X 系合金の変態組織の延性

東京大学 荒木 透

金属材料技術研究所 和田 仁

— 昼食・休憩 —

13:00~14:00 テーマ (粒界, 2相界面)

座長 早稲田大学 幸田 成康

講演 鉄鋼の結晶粒界の強化機構, 破壊挙動における役割

九州大学 北島 一徳

— 休憩 —

14:05~15:30 テーマ (中間段階変態組織)

座長 東京大学 橋口 隆吉

講演 鋼の各種中間段階変態組織の特性と区分名称の問題点

東京大学 荒木 透・中島 宏興

コメント ベイナイト組織の透過電子顕微鏡観察 住友金属中研 邦武 立郎・大森 靖也

コメント 低炭素鋼のベイナイトの問題点に対する考え方

新日鉄基礎研 井上 泰・松田 昭一

— 休憩 —

15:35~17:00 テーマ (鋼の不安定延性破壊)

座長 川崎製鉄技研 船越 督己

講演 高張力鋼の不安定延性破壊について

新日鉄製品研 三村 宏

コメント (仮題)高張力鋼の不安定延性破壊

日本鋼管技研 小指 軍夫

コメント 高張力鋼の延性破壊に及ぼす硫化物の影響

住友金属中研 寺崎富久長

17:00 閉会挨拶 鉄鋼基礎共同研究会 強度と靱性部会長 荒木 透

前刷と参加申込みについて 1部 600円(送料共)

シンポジウム前刷を用意いたします。希望者は通信先氏名(勤務先・職名も記入して下さい)シンポジウムへの出欠、前刷希望部数を明記の上代金を添えて2月5日までに日本鉄鋼協会技術部八子へお申込み下さい。

宛先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 〒100 TEL 03-279-6021